

## ★漢方あれこれ★

## ◆竹◆イネ科マダケ属

ハチク、マダケ、モウソウチク

太田順康

タケノコが店頭に並び季節の移り変わりをつけています。そろそろ衣替えですよと言っているようです。

子供の頃にタケノコの皮に梅干しを挟んで三角にしておやつとしてしゃぶっていたことを思い出します。孫に作ってやったら大不評でした。

日本の竹は50%がマダケだそうです。薬用にするのは、淡竹（ハチク）が主流です。葉、甘はだ、竹の油などを使います。

葉＝竹葉は神農本草経に記載されている薬品です。鎮静作用、鎮咳作用、利尿の作用があります。竹葉石膏湯は風邪などの熱性病が長引いて体力を消耗して微熱が続いて不眠、煩悶が起こったり、しこい咳が残った時に応用されます。

甘はだ＝竹筴（緑色の第一層皮を除いた第二層皮の部分）炎症をおさめ、鎮咳の作用があります。

竹筴温胆湯は熱が続いた後不眠などを起こしたときに使われます。

竹の油＝竹瀝（新鮮な竹を火に焙って切り口から出てくる液体）強壮、鎮静、鎮咳、止血の作用があり、肺炎、喘息、咽喉の爛れなどに盃に1杯づつ服用する。

竹は何処を使っても清熱作用が主体です。つまり微熱が続く、身体がほてる、熱っぽくて眠れない、咳が止まらないに応用されます。

たむし等の皮膚病に竹と南天の葉を煎じて洗うと良いそうです。また葉とキハダを粉にしてゴマ油で練ってつけても良いようです。

しゃっくりに柿の蒂が良く効きますが、竹筴と玄米を煎じて飲んでも効くそうです。

各種の出血、子宮出血の長引くもの、鼻血、吐血、咯血に竹筴や竹葉を煎じて服用します。

結構有用な植物ですが、金華山周辺の竹藪が荒れ果てているのが気になります。京都嵐山周辺の竹林ほど綺麗で無くてももう少し手を入れたいものですね。

## 在禅洞

## すこやか教室 山歩き

曜日と時間：毎週金曜日 10:30～

☆雨のときは、中止します。

☆お茶など飲み物を持参しましょう。

## &lt;5月の予定&gt;

10日(金) 17日(金) 24日(金) 31日(金)  
新緑の5月。緑に包まれて歩く季節がやって来ました。

つい10日程前には、出て来たばかりの新芽がやわらかく、それぞれ違う緑の色で山や野を彩っていました。今はもう、暖かい陽ざしを浴びてあつという間に大きくなった葉が、お互い競うように大地を覆いはじめました。

寒暖の差が例年より大きく、お天気も不安定なように感じます。風邪を引かないよう、気をつけましょう。

## お知らせ

## § 漢方相談日

担当：太田順康：日本漢方交流会認定漢方終身師範。  
岐阜県漢方研究会会長。  
岐阜薬科大学「漢方学」講師

今月の漢方相談日は、下記です。

13日(月) 20日(月) 27日(月)

## § 5月の休診日

2日(木) 3日(金) 6日(月) (祭日)

綺麗な竹林を散歩していると竹の香で気持ちが落ち着き、ややもやが無くなる感じがします。竹の葉の擦れ合う音を聞きながら散歩するのも良いですね、岐阜あたりに何処か有いませんか？

中華ソバのシナチクは淡竹の竹筴部分を塩漬けにして発酵させたものだそうです。

竹の需要が増えないと竹藪は荒れたままでしょうね。松じゃなくても、竹が良いとは定食の事でしたか。

(つづく)